



ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会 〒251-0026 藤沢市鵠沼東8-2 秩父宮記念体育館内
URL <http://www.fujisawa-taikyo.org/>

藤沢市体育協会のホームページは、2007年の開設以来、体育協会および加盟する各種目協会の情報を随時掲載し、スポーツ教室の案内や大会の案内とその結果報告など、様々な情報をいつでもどこからでも閲覧できるような情報発信を行っております。

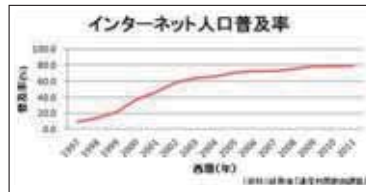
このたびのリニューアルでは、よりアクセスしやすく、また視覚的にも楽しめるように“をモットーに概観、構成を一新しました。たとえば、年3回発行（7月、12月、4月）している広報紙「ふじさわ体協」については、第1号（創刊号、昭和60年7月発行）から80号（平成24年4月発行）までのすべてがこのホームページから閲覧できます。その中ではまた、当協会が主催する「スポーツ人の集い」（毎年度末に開催）で、その年に最も活躍したアスリートたちの顕彰の模様などについてもじっくり閲覧することが可能です。

その他にも当体育協会に登録されている32種目競技団体の各種イベントやその結果、さらにはジュニアのための育成研修会や教室開催のお知らせなど、知りたい最新の情報が掲載されています。最近の総務省のまとめた資料によると、インターネットの普及率

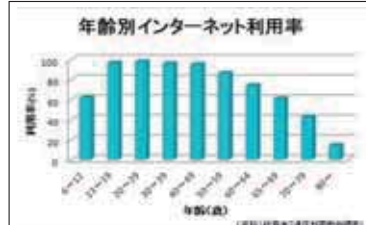


藤沢市体育協会ホームページ <http://www.fujisawa-taikyo.org/>

ふじさわ体協ホームページ
完全リニューアル



資料1 インターネット人口普及率



資料2 年齢別インターネット利用率

は2011年時点で実に約80%となっており、10人に8人がインターネットを利用していることとなります。その中でも、インターネット利用者は必ずしも若い世代に多いとばかりは言えないようです。総務省の調査結果（「年齢別インターネット利用率」資料2参照）によると、さらに若い世代である小学生や比較的高年齢の方もよく利用していることがわかります。つまり、現代においてはホームページによる情報発信は、人口の8割以上の幅広い世代に対して情報提供手段として実に有効な手段となっていることがわかります。

このために今回のリニューアルに当たっては、情報を厳選し必要な情報が得られやすいように考慮しながら、そのための有効な手段が検討されています。皆様からのご要望については、上記ホームページの「お問い合わせ」よりご連絡頂ければ幸いです。

(HP担当 新村幸裕)

私たちの藤沢市陸上競技協会

藤沢市陸上競技協会

「ふじさわ 体協60年記念史」の本協会の欄に「昭和20年秋、佐々木長治(元藤沢陸協会長)・関水正文(藤沢陸協終身名誉会長)などが中心となって、西島一光(現藤沢市陸協顧問)ら数人の選手を集め、湘南中学校で練習会を開始した。21年2月に神奈川県陸協再建の準備会が持たれ、3月16日に神奈川県陸上競技協会が設立された。それに合わせてその2月に藤沢市陸上倶楽部が設立された。これが藤沢市陸上競技協会の第一歩である」と記されている。

あれから68年、本協会は数々の「栄光と輝かしい歴史を刻み、神奈川の陸上界を力強くリードしてきた」と自負しています。

「栄光と歴史」ある本協会の最近のあゆみを紹介します。

今年度も瀧川一輝会長を中心に一般の会員数はここ数年300人を大きく上回り、県陸協では横浜・川崎市に続いて3番目に位置しています。これは多くの先人達の努力の賜と心より感謝を申し上げます。この努力を無にすることなく、今後多く多くの会員の「ご協力、ご支援をいただきながら協会の運営に携わり、新たな試みにも取り組んで参ります。

その主な活動内容は8月に藤沢市民選手権兼市民総合体育大会、12月に藤沢市長距離記録会、1・2月に大庭城跡クロスカントリー大会、そして3月に

藤沢市春季記録会を行っています。ラニングブームの影響ででしょうか、ありがたいことに年々出場者が増えています。その理由の一つにリトルスクールの存在が大きいと考えています。今年には市内の小中学生を中心に119人の登録がありました。毎週土曜日に体育センター補助グラウンド等で練習に励んでいます。お陰様で練習の成果が発揮され、毎年小学生の全国大会に数人の子どもたちが出場しています。やがてその子どもたちが中学校や高等学校に進学し、それぞれが陸上競技部で華々しく活躍していることが、出場者の拡大に大きな影響を与えていると考えています。

今後よりトル・中学校・高等学校の選手強化や組織強化に取り組んで参りたいと考えています。

また、3年前から行われています湘南藤沢市民マラソンが近い将来、ハーフマラソンに生まれ変われるよう競技運営をはじめ、陸協が中心的な役割を果たしていきたくと考えています。そして市民駅伝も当初の地区別対抗ができるよう現在準備に取り組んでいるところです。

これらを成功に導くためには若い世代の指導者や審判員の育成と練習場所の確保が急務の課題と考えています。

今後とも体協のご指導を仰ぎながら協会の運営に取り組んで参りたいと思います。

(八幡)



種目協会 アテカルト

～シリーズ47～

藤沢市サーフィン協会(一般社団法人日本サーフィン連盟 湘南藤沢支部 会員数314名)は、全国大会で、2年連続団体優勝(2010・2011年度)を果たしました。

今年も、夏に開催する第47回全国大会3連覇に向けて、代表選手の活躍を期待したいものです。

一般社団法人 日本サーフィン連盟(NSA)は、全国70支部 約14000名の会員から成る組織です。

NSAは、皆さまが安心して楽しいサーフィンが出来るように活動している団体です。楽しく波に乗りたいたいという気持ちはみんな一緒です。それを失わないようにするために、NSAはサーフィンの正しいルールとマナーを多くの人に知ってもらい、事故なく安全なレジャーとしてより良い環境作りを目指しています。

【協会の活動】

協会と湘南藤沢支部主催で、藤沢市みらい創造財団と共に、夏休みに、藤沢市内在住・在学の中学生・高校生を対象としたシースクール(サーフィン

全国大会2連覇

藤沢市サーフィン協会

スクール)を開催し、その他大会を5回、検定試験を2回海岸清掃を行っています。

湘南藤沢支部のホームページで、大会結果やイベントの様様を掲載しております。

(大川)



第46回 全日本サーフィン選手権大会(2011)

湘支部ホームページ

<http://www.nsa-shonan-fujisawa.org/2008/>

平成24年度 藤沢市体育協会事業計画

- 1 評議員会、理事会、常任理事会、専門部会の開催
- 2 藤沢市体育協会の組織運営に関する研究
- 3 藤沢市委託事業の実施
- 4 (1) 第67回藤沢市民総合体育大会開催事業
(2) スポーツ人の集い表彰式典および講演会
- 5 種目協会会長会の開催
- 6 第28回「スポーツ人の集い」開催
- 7 藤沢スポーツ賞（功労者、優秀選手、敢闘選手）の表彰及び各種表彰に関する事業
- 8 県外スポーツ交流推進の助成事業
- 9 賛助会員の拡充
- 10 加盟種目協会への補助金交付
- 11 広報紙の編集、発行に関する事業
- 12 スポーツ関係団体との連携充実
- 13 (1) 藤沢市スポーツ振興基本計画「ふじさわスポーツ元気プラン2020」に基づくスポーツ振興
(2) 市民総合体育大会のあり方の検討
(3) 体育協会とスポーツ課、(公財)藤沢市みらい創造財団、藤沢市医師会との連携について

《種目別新会長紹介》

●グラウンドゴルフ協会

渡辺光雄

平成23年度収支決算

1. 収入の部 (単位 円)

項目	収入済額
体協費	9,071,999
補助金及び交付金	3,470,000
委託料	3,160,000
賛助会費	1,487,000
分担金	561,000
繰越金	393,834
雑収入	165

収入済額
支出済額
差引額

2. 支出の部 (単位 円)

項目	支出済額
運営費	8,769,442
事務局費	1,839,558
事業費	6,829,884
積立金	100,000
予備費	0

9,071,999 円
8,769,442 円
302,557 円

平成24年度収支予算

1. 収入の部 (単位 円)

項目	予算額
体協費	8,970,000
補助金及び交付金	3,470,000
委託料	3,132,000
賛助会費	1,500,000
分担金	561,000
繰越金	302,557
雑収入	4,443

2. 支出の部 (単位 円)

項目	予算額
運営費	8,970,000
事務局費	1,945,000
事業費	6,867,000
積立金	100,000
予備費	58,000



鶴沼バトンガールの皆さんを先頭に入場式

藤沢の野球フェスティバル



- 会期：平成24年 5月27日(日)
- 会場：藤沢市鶴沼運動公園野球場
- 主催：藤沢市野球協会
- 後援：藤沢市・藤沢市教育委員会

”藤沢をスポーツ振興の街に！”を合言葉に、1986年(昭和61年)よりスタートした「藤沢の野球フェスティバル」も市をはじめ関係各位の絶大なるご協力により、今年で第25回を迎えることとなりました。

野球を通じて各世代間の交流に大きな役割を果たしております。当フェスティバルは、小学生、中学生、高校生、社会人が一堂に会し、各部において予選通過または推薦された計8チームが市長杯争奪を目指

試合結果

部	優勝チーム	スコア	準優勝チーム
小学生の部	湘南ゲンキッズスポーツ少年団	4:1	六会レズ
中学生の部	明治中学校	1:0	羽鳥中学校
高校生の部	湘南高校	9:8	藤嶺藤沢高校
社会人の部	ブルージェイズ	4:2	湘南ギャラクシー



参加の選手並びに各チームの父母及び応援の方々には終日野球の楽しさ、素晴らしさを満喫されたと思います。(中溝)

典に華を添え、更に少年部の新人戦(小学生5~3年生)参加33チームの開会式も同時に執り行われ、鈴木市長の始球式を皮切りに8チームの選手が熱戦を繰り広げました。



鈴木市長の始球式

当日、快晴の開会式には鈴木市長、佐々木教育長参列のもと毎年ご協力頂いている「鶴沼バトンガールズ」、「藤沢市消防本部吹奏楽団」の皆さんが式

ロンドンオリンピック パラリンピック開催



添田豪選手が藤沢市長を表敬訪問

藤沢市ゆかりの出場選手を応援しよう!!

編集後記

藤沢市民総合体育大会(市民総体)も今年で第67回を迎え、地区対抗競技として、社体協地区担当者のご協力のもと5月6日から9月まで、7競技(バレーボール、軟式野球、バトミントン、卓球、ソフトボール、硬式テニス、ソフトテニス)が熱戦を繰り広げています。しかし、市民総体も時代の変化とともに変容しなければならぬ時期に差し掛かっているようで、本大会が永久に継続していくためには沢山の市民が楽しく参加出来るよう運営などを見直し、大会が発展することを期待したいと思います。

競技運営に拘わる多くの関係者の尽力なくして市民総体は成り立ちませんが、地域に密着した藤沢のスポーツの推進役を担えばと願ってなりません。(中溝、八幡)

ロンドンオリンピックは、7月27日に開会式を迎え、17日間で26競技(302種目)を行い、8月12日に閉幕します。また、パラリンピックは、8月29日から9月9日まで開催され、20競技に約4200人の選手が出場します。この両大会には、藤沢市ゆかりの選手が10名出場しますので、健闘を祈るとともに活躍を応援しましょう。

山縣 亮太(陸上) 慶應義塾大学湘南藤沢在学

横田 真人(陸上) 慶應義塾大学湘南藤沢出身

近藤 愛(セーリング) 日本大学生物資源科学部出身

酒井麻里子(シンクロ) 藤沢市在住

パラリンピック

石井 雅史(自転車) 藤嶺学園藤沢高校出身

高桑 早生(陸上) 慶應義塾大学湘南藤沢在学 (敬称略)

- オリピック
- ▼ 添田 豪 (テニス) 藤沢翔陵高校出身
 - ▼ 立石 諒 (水泳) 慶應義塾大学湘南藤沢在学
 - ▼ 別府 史之(自転車) 藤沢北高校出身
 - ▼ 土居 愛実(セーリング) 慶應義塾大学湘南藤沢在学

参加の選手並びに各チームの父母及び応援の方々には終日野球の楽しさ、素晴らしさを満喫されたと思います。(中溝)